**平成２７年度高次脳機能障がい地域支援ネットワーク体制整備事業**

資料３－１

１．地域コーディネーター拠点機関委託状況

（１）委託圏域（７圏域）

豊能、三島、北河内、中河内、南河内、泉州、堺市各圏域については、各圏域の整備状況課題を踏まえ、障がい者医療・リハビリテーションセンターが積極的に作業部会やネットワーク会議に参画し、地域支援ネットワークの体制強化を行った。

各圏域のネットワーク運営や企画に対しての助言等を行った。具体例としては以下のとおりである。

①　市町村と地域コーディネーター拠点機関との連携を密にするため、地域コーディネーター拠点機関が行う作業部会等企画会議への市町村の参画の働きかけ。

②　圏域で実施する研修会について、障がい者医療・リハビリテーションセンター及び他圏域の先行事例等について情報提供及び企画支援。

③家族会の立ち上げに、他圏域の既存の家族会の運営方法や手法について情報提供。

（２）大阪市圏域

障がい者医療・リハビリテーションセンターが中心となり、大阪市と連携してネットワーク体制整備を目指している。大阪市担当課の協力のもと、大阪市内各区役所および保健福祉センターへのポスター・チラシなどを用いた普及啓発を徹底した。

※平成２７年度各圏域活動状況については資料3－2参照。

２．地域支援ネットワーク全体会議

　平成２８年３月２２日（火）に実施予定。各圏域からの活動報告に加え、今後の地域支援ネットワーク構築をすすめていくうえでの課題や運営方法などについて、外部講師を招き検討する。

　＜内容＞

・各圏域からのネットワーク運営状況の報告

・講演　「ネットワーク運営と支援者のバーンアウトを防ぐには」

徳島大学大学院　医歯薬学研究部　地域医療福祉学分野　　白山靖彦教授

・質疑応答